

九谷焼技術研修所 中期経営目標 取組状況（平成24年度）

中期経営目標（実施期間 H24～H26）

- ① 本科の入学志願者数を定員の1.5倍に高めます。
- ② 研究科の定員充足率を70%に高めます。
- ③ 実習科の定員充足率を70%に高めます。
- ④ より高度な技術力と商品開発力を修得した人材の育成に努めます。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値 (H22)	実績値 (H24)	目標値 (H26)
① 本科入学志願倍率	1.2倍	0.8倍	1.5倍
② 研究科定員充足率	33%	53%	70%
③ 実習科定員充足率	60%	50%	70%
④ 本科から研究科への進学率	67%	42%	70%

2 平成24年度における主な取組内容

(1) 求められる人材の育成について

- ・本科において、技術の修得だけではなく、九谷焼業界で活躍している方々の実体験を聞くなど、就職、あるいは独立してから求められる経営等の知識を学んでもらう授業を新たに取り入れました。

(2) 研修生の確保について

- ・研修所の知名度の向上と入学希望者の増加に繋げるため、オープンキャンパス、茶碗まつりや陶芸村まつりに合わせた施設開放等を行いました。

九谷茶碗まつり（5月） 研修所施設を一般開放

8月25日 オープンキャンパス（絵付やロクロの体験等）

陶芸村まつり（11月） 施設開放と研修生及び研修所OBの制作品の展示・販売

- ・しいのき迎賓館や県庁19階展望ロビー、能美市役所等での作品展や開放講座（九谷焼上絵付講座）などを開催し、広く九谷焼や研修所のPRに努めました。
- ・民間企業が主催する美術・デザイン系の大学や専門学校の合同進学相談会に参加し、高校生等へのPR活動に努めました。

(3) 商品開発に向けた支援について

- ・研修所の卒業生などが参加しているデザイン支援事業の成果品を、しいのき迎賓館で展示し、販売促進に繋げるとともに、研修所の周知に努めました。

(4) 就職支援について

- ・九谷焼業界で就職希望の新卒業生については、本人はもちろん、担任も就職希望先に出向くなど支援し、100%に近い就職率となりました。また、既卒生にも、県内・県外からの求人情報を提供し、就職に結びつくよう指導助言に努めました。

3 平成25年度における取組内容の見直し等

- ・県内の高校等を対象に、クラブ活動等の時間を活用して、上絵付け体験のできる「出張教室」を新たに開催し、九谷焼及び研修所のPRに努めます。
- ・海外（台湾等）からの伝統産業研修旅行といった交流機会を活かし、絵付け体験等を通して継続的な交流促進に努めるとともに、九谷焼及び研修所のPRにも努めます。
- ・研修生や九谷焼産業従事者の幅広い知識の向上に資するため、夏期講座や特別講座について、ディスプレイやデザインの企画といった内容を取り入れるなどの充実を図ります。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

※各年度4月学生数には休学者、復学者含む。

【本科】

指標	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
定員充足率	%	83.3	103.3	103.3
総定員（各学年15人）	人	30	30	30
各年度4月学生数	人	25	31	31
1年	人	16	15	16
2年	人	9	16	15
志願倍率（翌年度入学者入試）	倍	1.20	1.33	0.8
志願者数	人	18	20	12
合格者数	人	16	17	12
就業率（進学者を除く）	%	100.0	66.6	62.5
卒業者数	人	9	13	14
（うち進学者数）	人	（6）	（7）	（6）
関連産業就業者数	人	3	4	5
うち県内	人	2	3	4

【研究科】

指標	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
定員充足率	%	33.3	40.0	53.3
定員	人	15	15	15
各年度4月学生数	人	5	6	8
志願倍率（翌年度入学者入試）	倍	0.40	0.6	0.4
志願者数	人	6	9	6
合格者数	人	6	9	6
就業率	%	100.0	83.3	100.0
卒業者数	人	5	6	7
関連産業就業者数	人	5	5	7
うち県内	人	5	4	7

【実習科】

指標	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
定員充足率	%	60.0	56.6	50.0
総定員(各コース15名)	人	30	30	30
各年度4月学生数	人	18	17	15
志願倍率(翌年度入学者入試)	倍	0.53	0.4	0.5
志願者数	人	16	12	15
合格者数	人	16	12	15
卒業者数	人	17	14	10

【デザイン支援事業】

項目	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
参加人数	人	16	14	16
デザイン検討会	回	6	6	6
商品開発数	アイテム	11	13	14

2 収支の状況

(単位：千円)

		H 2 2 決算	H 2 3 決算	H 2 4 決算	H 2 5 予算
歳出	職員費	69,088	63,566	60,612	56,038
	運営費	12,236	11,437	11,030	11,807
	研修事業費	20,493	20,659	20,284	21,328
	開放講座開催費	752	794	757	757
	計	102,569	96,456	92,683	89,930
歳入	授業料	11,829	13,326	13,064	13,170
	入学検定手数料	453	548	359	483
	入学手数料	2,047	2,605	2,030	2,199
	開放講座受講料	96	96	96	90
	一般財源	88,144	79,881	77,134	73,988
	計	102,569	96,456	92,683	89,930

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

	H 2 2	H 2 3	H 2 4	備考
一般財源投入額 ①	88,144 千円	79,881 千円	77,134 千円	
利用者数 ②	4 8 人	5 4 人	5 4 人	全科研修生数
利用者1人あたりの一般財源投入額 ①÷②	1,836,333 円	1,479,277 円	1,428,407 円	